

2 多様な主体の参画のための体制整備の進展

①活動の中心となる人材・指導者の育成に取り組んだ例

京都：里山交流大学の開催

NPO 法人里山ねっと・あやべでは、各地域で都市農村交流やコミュニティビジネス、地域づくりなどに取り組む（又は関心のある）人々や自治体職員、NPOスタッフ、コーディネーター等を対象とした連続講座を平成19年に3回開催している。そのコンセプトは以下のとおりである。

●設立趣意・コンセプト（パンフレットより）

綾部里山交流大学は「“志縁”による価値創出が時代を変える」をテーマに、一産一校の精神で学びあい、それぞれの舞台で農村ビジネス、地域ビジネス、社会起業、コミュニティビジネス、まちづくり等を志し、新しい型（ビジネスモデル、地域づくり、ライフスタイル、生き方など）を創出し、魅力的で平和な世界をもたらす人財を輩出することを目的とし、2007年夏、「平和都市・綾部」に開校します。人と人、人と自然、人と地域資源、また、自分自身との出会いや対話など、「多様な交流」が生み出す可能性を探求し、未来価値の創出、文化の創出をめざします。

●講座例（夏講座（8/24～26） 講義・ディスカッション内容）

<講義・ディスカッション①「感性学」>

演題：農的感性（農的まなざし）がひらく新しい世界

講師：宇根豊（NPO 法人農と自然の研究所代表理事／福岡）

<講義・ディスカッション②「交流デザイン学」>

演題：“大地の芸術祭 越後妻有トリエンナーレ”に学ぶ交流デザイン

講師：北川フラム（アートディレクター、女子芸術大学美術学部教授、アートフロントギャラリー主宰／東京）

<講義・ディスカッション③「地域資源学」>

演題：21世紀最先端の地域資源学

講師：竹田純一（里地ネットワーク事務局長）

<講義・ディスカッション④「綾部型学」>

演題：大本、グンゼ、合気道～平和都市・綾部から発する交流デザインの思想

講師：四方洋（ジャーナリスト、「蕎麦春秋」編集長、毎日新聞「グリーンツーリズム大賞」調査委員長、NPO ネイチャースクール理事）

<講義・ディスカッション⑤「価値創出学」>

演題：京都“百万遍手づくり市”の価値創出の哲学

講師：榎本潔（「百万遍手づくり市」主催／京都）

<パネルディスカッション>

テーマ：素材の宝庫・綾部から考える価値創造・交流デザイン

パネラー：綾部からの出店者を交えて（四方静子、ハタノワタル、水田裕之ほか）

<綾部型学ケーススタディ①「限界集落と水源の郷条例」について>

講師：四方八洲男（綾部市長）

<綾部型学ケーススタディ②「空山の里」について>

講師：村上正（酪農家、空山の里代表、里山ねっと・あやべ理事）

<講義・ディスカッション⑥「情報発信学」>

演題：半農半Xと里山的生活の情報発信を重ねて見えてきたもの

講師：塩見直紀（半農半X 研究所代表、里山ねっと・あやべスタッフ情報発信担当）

